

# 三方五湖学習

## 三方小学校「ゆりかご米」取組 農林水産大臣賞を受賞

若狭町立三方小学校の「ゆりかご米」の取組が、環境美化教育優良校等表彰事業（公・食品容器環境美化協会）にて、最優秀校の農林水産大臣賞に選ばれました。

今年で8年目となる「ゆりかご米」づくりや三方五湖一斉清掃への参加などは、地域の方、研究者、行政と連携した取り組みとなっており、三方小学校の取組が地域に大きく貢献していることも評価されているとのこと。

三方小学校のみなさん、関係者のみなさん、おめでとうございます。



福井新聞朝刊(平成30年1月14日付け)

# 三方五湖 ニュースレター



No. 15

平成30年3月10日発行



野鳥観察・市民参加型調査（コハクチョウの観察）

### 目次

- 公開シンポジウム、野鳥観察・市民参加型調査 ..... 1
- 五湖のめぐみワークショップ ..... 2
- 三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち ..... 3

## 自然再生関連会議等開催情報

- ◆自然護岸再生部会
  - ・平成29年12月22日…部会会議
- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
  - ・平成30年1月23日、2月27日…部会会議
- ◆外来生物等対策部会
  - ・平成30年1月21日…部会会議
- ◆環境に優しい農法部会
  - ・平成30年1月11日…部会会議
- ◆環境教育部会
  - ・平成30年2月17日、18日…五湖のめぐみワークショップ
- ◆シジミのなぎさ部会
  - ・平成29年2月26日…研究発表会、部会会議

## 三方五湖の自然とめぐみTOPICS

### シジミの再生取組啓発クリアファイル



久々子湖におけるシジミのすむ湖岸再生について紹介するクリアファイルが、シジミのなぎさ部会（事務局・美浜町住民環境課）により作成されました。クリアファイルの表面にはシジミ再生の取組の様子が、裏面には久々子湖でみられる主な生きものが掲載されています。

### 問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
  - 〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
  - TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課
  - 〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地
  - TEL 0770-32-6703
- 若狭町環境安全課
  - [三方庁舎]
  - 〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
  - TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
  - [若狭三方縄文博物館内]
  - 〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
  - TEL 0770-45-2270

## 三方五湖のなかまたち

### シラウオ（シラウオ科）

- ・体長 5～10cm
- ・河川の河口域と汽水湖に生息する。
- ・3～4月に湖岸に寄って来て、水深2～3mの砂地や水草に産卵する。
- ・卵とじ、天ぷら、吸い物などで食べる。
- ・福井県レッドリスト：県域絶滅危惧Ⅱ類



このニュースレターは「平成29年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。



# 公開シンポジウム 自然を活かして防災する

平成30年2月10日（土）に、福井県立三方青年の家において、公開シンポジウム「自然を活かして防災する」が開催されました。

シンポジウムは、自然災害と自然の恵みのかかわりを国内外のさまざまな事例に学びながら、これからの人と自然のかかわり方について共に考える機会を創出することを目的として開催されました。三人の講師による事例等報告の後、ポスター発表での意見交換、聴講者を含めての総合議論がされました。三つの講演の最後は、吉田丈人准教授（三方五湖自然再生協議会 副会長）から、三方五湖自然際協議会の取組を防災・減災の視点からご講演いただきました。

シンポジウムには県外から多くの研究者の皆さまが三方五湖を訪問くださいました。



### 【プログラム】

◇開催趣旨

◇講演：

- ・「東日本大震災における気仙沼市の被害と舞根地区における地域主体の復興」  
一ノ瀬友博（慶應義塾大学 教授）
- ・「自然豊かで安心安全な地域づくりー国内と海外の事例から」  
中村太士（北海道大学 教授）
- ・「三方五湖流域がもたらす自然の恵みと自然災害のかかわり」  
吉田丈人（東京大学 准教授）

◇ポスター発表

◇総合議論



講演の様子

# 野鳥観察・市民参加型調査

1月27日（土）及び2月4日（日）に、冬の鳥類について学ぶ講座が開催され、雪景色の中、親子連れ等が参加し、田んぼや湖で過ごすカモ類やハクチョウ類等を観察されました。

### 【久々子湖ぶらりカモ類ウォッチング】

日時：平成30年1月27日（土）9:00～11:00

場所：久々子湖

講師：日本野鳥の会福井県嶺南ブロック会員

主催：福井県海浜自然センター

共催：美浜町生涯学習まちづくり委員会、美浜環境パートナーシップ会議

協力：美浜町生涯学習課、美浜町住民環境課

連携：福井ライフ・アカデミー・福井大学CST

内容：講師と一緒に久々子湖と周辺水田を歩きながら、飛来しているカモ類を探し、見分け方や生態等について学び、観察

### 【オジロワシとコハクチョウを観察しよう】

日時：平成30年2月4日（日）9:00～11:00

場所：三方湖周辺・ふゆみず田んぼ

講師：日本野鳥の会福井県嶺南ブロック会員

主催：福井県海浜自然センター

共催：若狭三方縄文博物館

連携：福井ライフ・アカデミー・福井大学CST

内容：三方湖及びふゆみず田んぼにて羽を休めているコハクチョウを観察した後、越冬のため三方五湖に飛来した海ワシを探鳥



# 五湖のめぐみワークショップ 三方湖編

環境教育部会を中心となり実施している「五湖のめぐみワークショップ三方湖編」が、今年も開催されました。今年のワークショップは、2月17日（土）に西田公民館（若狭町）、翌18日（日）は久々子ふるさと会館（美浜町）にて開催され、昨年と同様に静岡大学より富田涼都准教授にお越しいただきました。

17日（土）のワークショップでは、地元集落から10人のご参加をいただきました。ワークショップの冒頭では富田先生から水辺の風景画から読み取れることをご講演いただき、その後、参加いただいた地元の皆さまより少し前の水辺の様子についてお話をいただきました。

会場になった西田公民館の和室には、土地改良がされる以前の写真とその後の写真が並んでおり、ご参加いただいた方からは、当時の様子をいきいきとお話いただきました。また、80歳を超える女性の方からは、「うちの田んぼの湖側には、水辺にたくさんのヨシが生えていて、毎年それを刈り取って売っていた」といった、貴重な“証言”もいただきました。ご参加いただいた皆さまは、一様に、「昔は田んぼにフナ・コイがたくさんあがっていて、それを捕って食べた。」とお話され、その様子をにぎやかに教えてくださいました。

そんな昔の水辺の姿、やはり、今の子どもたちに伝えていきたいと思いました。

三方湖のめぐみ  
“フナの味噌汁”



“昔の水辺”についての意見交換

# 久々子湖編

五湖のめぐみワークショップ久々子湖編は、三方湖編の翌日、2月18日（日）に行き、地元集落から12人のご参加をいただきました。主に年配の方々のご出席くださり、昔の久々子集落の様子、久々子湖の様子をお話いただきました。久々子湖編のワークショップでも、富田先生に冒頭に水辺の風景画のお話をいただき、その後、ご参加いただいた皆さまと団らんしながら情報交換いたしました。団らんの時間では、久々子湖の写真をみんなで眺めながら、「ここはシジミがよく捕れた」、「ここで竹を切って、釣竿をつかってハゼを釣った」、「この辺ではフナはあまりとらなかったけど、ウグイは捕ったな〜」といったお話をにぎやかにいただきました。

ご参加いただいた方々からは「ぜひ、久々子湖のシジミは、いまの子どもたちにも伝えたい」、「そのために、外部の方々の方力もかけてほしい」といった声がありました。

今年開催した五湖のめぐみワークショップ三方湖編、久々子湖編とも、年配の皆さまがお持ちの“記憶”を今の子どもたちにしっかり伝えていきたいと思いました。五湖のめぐみワークショップは、平成30年度も実施予定です。次は、子どもたちにも参加いただきながら、昔の「がんだ坊」「やんちゃびい」と一緒に魚やシジミを探すと楽しいかもしれませんね。



上：“昔の水辺”についての意見交換



久々子湖のめぐみ“シジミ汁”